

# 神奈川大学×日本メキシコ学院

## メキシコ人高校生との交流会を経て

6月26日(月)～7月1日(土)にかけて、みなとみらい・横浜キャンパスにて行われた『メキシコウィーク』の2日目に当たる27日(火)に、言語・文化交流の一環としてメキシコから日本メキシコ学院(通称リセオ)の生徒が本学に來校しました。

### 交流の流れ

- 1階グローバルラウンジにて顔合わせ
- 本学スペイン語学科の学生による  
神大・みなとみらいの紹介プレゼン
- 日本メキシコ学院の生徒による  
メキシコ・リセオの紹介プレゼン
- 日本語・スペイン語タイムに分けて  
2チームで30分間のトークタイム
- みなとみらいキャンパスツアー前編
- 一緒にランチタイム
- キャンパスツアー後編
- 終わりの会・解散



メキシコ国旗を持った  
ジンくんとかナちゃん  
頂いたメキシコからの  
お菓子のお土産

今回日本メキシコ学院からは高校一年生の生徒が4名、教員の方が1名ご來校いただき、本学からはスペイン語学科の4年生が4名(キンテロ絵玲奈、竹内章訓、奥山康成、および筆者/新木ゼミ所属)と国際センターのスタッフ2名が参加しました。

日本メキシコ学院の  
生徒による  
メキシコ・リセオの  
紹介プレゼン



顔合わせの際はお互い緊張した面持ちでしたが、トークタイムに移るとすぐに打ち解け、スペイン語・日本語、時には英語を入り交えて楽しくコミュニケーションをとることができました。トークタイムでは日本のおすすめの観光スポットやグルメを教えたり、逆

外国語学部 スペイン語学科4年 大谷布生加

リセオの生徒の中には日本の文化に興味を持ち、将来は日本に留学することを希望する生徒もいました。日本メキシコ学院は、日墨関係樹立後、メキシコへの移住が可能になったことで生まれたコミュニケーションによって、メキシコとのつながりを失うことなく日本語や伝統を学ぶことができる教育システムが求められ、

にメキシコの食文化について教わったり、日本とメキシコの文化の違いについて議論したりと、話題が尽きない実のある時間となりました。特に共通の話題として日本のアニメやゲームについて盛り上がりました。

2チームに分かれての30分間のトークタイム



私はスペイン語学科の4年生で、昨年度からラテンアメリカの研究ゼミナールに所属しています。今回の交流会に参加させていただいたのは、私が高校時代に交換留学の一環で日本メキシコ学院に二週間通った経験があったからです。私の母校である横浜翠陵高等学校は、日本メキシコ学院と国際交流協定を結んでおり（高校としては唯一）、姉妹校として度々交換留学を行っています。今回本学で行われた交流会もその一環で、初の試みとして日本の大学を見てみるということとでみなとみらいキャンパスまで足を運んでくださりました。このメキシコ交換留学は私が本学に入学するきっかけであり、今の私にとって必要不可欠なピースで

おわりに

1977年に日本・メキシコ両国政府の協力により設立された、日本最初の「国際校」です。教育と文化交流活動を通じて、メキシコと日本という二つの貴い文化の連帯と協調、理解の架け橋となることを目指し、メキシコ在留邦人並びに日系人子弟の教育機関たるにとどまらず、日本の文化や教育に関心のあるメキシコ人子弟にも開かれた学校として日本コース、メキシココースを併存し、幼稚部から高校部までの一貫教育を行っています。卒業生の中には医者・弁護士・大学教授・外交官など様々な業界で活躍されている方がいらつしやう、最近日本で活躍されている女優の上白石萌音さんも3年間ほどリセオで学ばれていました。今回このような機会を通して、国は違えどお互いにお互いの文化に興味を持った学生同士が交流できたことで、これからの多文化共生社会と異文化理解の深化につながる価値ある時間を共有することができたと実感しています。

参加者の記念写真



す。大学生活最後の年に、このような貴重な会に参加できたこと、そして「日本とメキシコをつなぐ架け橋になる」という入学時の目標を達成できたことを大変嬉しく思います。今回この会を設定してくださった国際センターの方々、一緒に参加してくれた新木ゼミの仲間たち、この会のために色々動いてくださった新木先生、そして私の進学をサポートし応援してくれた母校のS先生に感謝します。